

科目区分 コア・ユニット	科目名	配当年次	開講期		単位数			授業 時間数	卒業要件	担当教員 (非常勤) ☆マークは代表教員	備考			
			前期	後期	必修	選択	要件外							
学部共通科目	国際共生入門	1・2・3・4	○		2			30	10単位以上	コース教員(☆工藤)	「異文化理解と多文化共生」「英語で学ぶ国際共生」「日本の歴史と文化」「アジアの歴史と文化」「地誌学」のうちから選択必修(6単位)			
	異文化理解と多文化共生	1・2・3・4		○		2		30		☆植村、上水流、中石、向居				
	英語で学ぶ国際共生	1・2・3・4		○		2		30		☆栗原、タインズ、田中和				
	日本の歴史と文化	1・2・3・4		○		2		30		☆小川俊、福田、目黒、杉山聖				
	アジアの歴史と文化	1・2・3・4		○		2		30		☆岡本、工藤、鄭遇、鄭銀				
	地誌学	1・2・3・4		○		2		30		(横川)				
	経営学概論	1	○			2		30		長桶				
	会計学概論	1	○			2		30		加納				
	マーケティング概論	1		○		2		30		栗島				
	ファイナンス概論	2	○			2		30		村上恵				
	地域政策論	2	○			2		30		和田				
	基礎化学	1	○			2		30		(多山)				
	分析化学	1	○			2		30		岡田玄				
	微生物学	2		○		2		30		安藤、有馬				
	食品化学	3		●		2		30		谷本				
	臨床医学	2	○			2		30		菅野				
	人工知能概論	2	○			2		30		市村				
	IoT・情報システム基礎学	1	○			2		30		小川仁				
	基礎情報学入門	1		○		2		30		小川仁				
	経営情報論	1		○		2		30		広谷				
	ITパスポート試験対策演習	1・2・3・4		●		1		30		小川仁				
	データ分析とプログラミング	1・2・3・4		○		2		30		野呂				
	人工知能応用基礎論	1・2・3・4		○		2		30		松井				
	専門教育科目	中上級外国語科目	上級英語総合(Critical Reading I)	1・2・3・4	○		1			30		—	栗原	
			上級英語総合(Critical Reading II)	1・2・3・4		○		1		30			栗原	
			上級英語総合(Cross-Cultural Studies)	2・3・4	○			1		30			(吉本)	
			上級英語総合(Seminar)	2・3・4		○		1		30			(吉本)	
			上級英語表現(Global Communication I)	1・2・3・4	○			1		30			タインズ	
			上級英語表現(Global Communication II)	1・2・3・4		○		1		30			タインズ	
			上級英語表現(Presentation I)	2・3・4	○			1		30			タインズ	
			上級英語表現(Presentation II)	2・3・4		○		1		30			タインズ	
			中級中国語総合	1・2・3・4		○		1		30			(徐)	
			上級中国語総合	2・3・4	○			1		30			植村	
			中級中国語表現	2・3・4	○			1		30			工藤	
上級中国語表現			2・3・4		○		1	30	工藤					
中級韓国語総合			1・2・3・4		○		1	30	鄭遇					
上級韓国語総合			2・3・4	○			1	30	鄭遇					
中級韓国語表現			2・3・4	○			1	30	鄭銀					
上級韓国語表現			2・3・4		○		1	30	鄭銀					
外国語検定(英語)I(認定)			1・2・3・4	認定	認定		1	30	栗原					
外国語検定(英語)II(認定)			1・2・3・4	認定	認定		1	30	栗原					
外国語検定(英語)III(認定)		1・2・3・4	認定	認定		2	30	栗原						
外国語検定(中国語)I(認定)		1・2・3・4	認定	認定		1	30	岡本						
外国語検定(中国語)II(認定)		1・2・3・4	認定	認定		1	30	岡本						
外国語検定(中国語)III(認定)		1・2・3・4	認定	認定		2	30	岡本						
外国語検定(韓国語)I(認定)		1・2・3・4	認定	認定		1	30	鄭遇						
外国語検定(韓国語)II(認定)		1・2・3・4	認定	認定		1	30	鄭遇						
外国語検定(韓国語)III(認定)		1・2・3・4	認定	認定		2	30	鄭遇						
多文化共生コアユニット		国際共生社会論	2・3・4	○		2		30	多文化CUを第一CUとする場合20単位以上・継承CUを第一CUとする場合8単位以上	植村				
		多文化共生教育論	2・3・4		○		2	30		植村				
		国際共生のための認知心理論	2・3・4		○		2	30		向居				
		英語圏社会文化論	2・3・4	○			2	30		田中和				
		英語文学論	2・3・4		○		2	30		田中和				
		米国社会文化論	2・3・4		○		2	30		栗原				
		英米文化史	2・3・4	○			2	30		栗原				
		英語学	2・3・4	○			2	30		(草薨)				
		英語コミュニケーション	2・3・4		○		2	30		(草薨)				
	共生言語論	2・3・4		○		2	30	タインズ						
	日本語教育学	2・3・4		○		2	30	中石						
	多文化社会とことばの教育	2・3・4		○		2	30	中石						
	東アジア社会文化論	2・3・4	○			2	30	上水流						
	東アジア共生社会論	2・3・4	○			2	30	上水流						
	韓国語学	2・3・4		○		2	30	鄭遇						
	東アジア比較文化論	2・3・4		○		2	30	鄭銀						
国際関係史論	2・3・4	○			2	30	岡本							

科目区分 コア・ユニット	科目名	配当年次	開講期		単位数			授業 時間数	卒業要件	担当教員 (非常勤) ☆マークは代表教員	備考
			前期	後期	必修	選択	要件外				
専門教育科目	多文化共生 コア・ユニット	多文化共生実践	3・4	●	2			30	多文化CUを 第一CUと する場合 8単位以上 ・ 継承CUを を第一CUと する場合 4単位以上	コース教員	
		多文化共生教育論研究	3・4	○		2		30		植村	
		国際共生のための認知心理論研究	3・4	○		2		30		向居	
		多文化接触と言語	3・4	○		2		30		馬本	
		英語表現	3・4	○		2		30		田中和	
		英語文学論研究	3・4	○		2		30		田中和	
		米国社会文化論研究	3・4	○		2		30		栗原	
		英語学研究	3・4	○		2		30		草薙	
		英文法	3・4	○		2		30		草薙	
		共生言語論研究	3・4	○		2		30		タインズ	
		ディベート・プレゼンテーション	3・4	○		2		30		栗原、工藤、鄭遇	
		日本語教授法	3・4	●		2		30		中石	
		日本語教育実習	3・4	●		2		30		中石	
		東アジア社会文化論研究	3・4	○		2		30		上水流	
		韓国語学研究	3・4	○		2		30		鄭遇	
	東アジア比較文化論研究	3・4	○		2		30	鄭銀			
	文化継承 コア・ユニット	日本文化史論	2・3・4	○		2		30	継承CUを 第一CUと する場合 20単位以上 ・ 多文化CUを を第一CUと する場合 8単位以上	杉山聖	
		東アジア地域史論	2・3・4	○		2		30		岡本	
		東アジア交流史論	2・3・4	○		2		30		岡本	
		書誌学	2・3・4	○		2		30		目黒	
		日本古典文学	2・3・4	○		2		30		目黒	
		古典文芸で考える共生社会	2・3・4	○		2		30		目黒	
		古典文芸で読む日本文化	2・3・4	○		2		30		目黒	
		日本近現代文学	2・3・4	○		2		30		福田	
		日本近現代文学特論(原爆文学)	2・3・4	○		2		30		福田	
		日本語学Ⅰ	2・3・4	○		2		30		小川俊	
		日本語学Ⅱ	2・3・4	○		2		30		小川俊	
		漢文学	2・3・4	○		2		30		工藤	
		日中比較文学論	2・3・4	○		2		30		工藤	
		書道・書写	2・3・4	○		2		30		(森哲)	
博物館概論		2・3・4	○		2		30	杉山聖			
博物館経営論	2・3・4	○		2		30	杉山聖				
博物館資料論	2・3・4	○		2		30	(花本)				
生涯学習概論	2・3・4	○		2		30	(天野か)				
文化継承 コア・ユニット	文化継承実践	3・4	●	2			30	継承CUを 第一CUと する場合 8単位以上 ・ 多文化CUを を第一CUと する場合 4単位以上	コース教員	継承Ⅱ：前期6・後期6	
	日本文化史論研究	3・4	○		2		30		杉山聖		
	東アジア地域史論研究	3・4	○		2		30		岡本		
	日本古典文学研究	3・4	○		2		30		目黒		
	日本近現代文学研究	3・4	○		2		30		福田		
	日本語学研究	3・4	○		2		30		小川俊		
	漢文学研究	3・4	○		2		30		工藤		
	博物館資料保存論	3・4	○		2		30		大知		
	博物館展示論	3・4	○		2		30		大知		
	博物館教育論	3・4	○		2		30		(久下)		
	博物館情報・メディア論	3・4	○		2		30		小川仁		
	博物館実習	4	○		3		30		杉山聖、大知		
専門教育科目	国際共生 フィールド ワーク	国際共生フィールドワーク(国内)	1・2・3・4	認定	認定	2	30	—	コース教員	研修報告・レポートをもって認定	
		国際共生フィールドワーク(国外)	1・2・3・4	認定	認定	2	30		コース教員	研修報告・レポートをもって認定	
	隣接 領域 専門 科目	地域産業特別講義	2・3・4	○		2	30	—	☆山根、朴、長桶、粟島 (東郷)		
		NPO論	2	○		2	30		和田		
		地域経営論	2	○		2	30		和田		
		地域産業論	3	○		2	30		和田		
		地域調査法	3	○		2	30		山根		
		行動経済学	3	○		2	30		岡田高		
		憲法	2	○		2	30		岡田高		
		行政法	3	○		2	30		岡田高		
		統治システム論	3	○		2	30		岡田高		
	地域協働演習	3・4	○	○	2	30	—	重安ほか			
	卒業 論文・ 卒業 研究	卒業論文(専門演習)Ⅰa	3・4	○	○	2	30	「卒業論文(専門演習)Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb」 または「地域 課題解決研究 Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・ Ⅱb」から8単 位	コース教員		
		卒業論文(専門演習)Ⅰb	3・4	○	○	2	30		コース教員	卒業論文(専門演習)Ⅰaの単位を取得していること	
		卒業論文(専門演習)Ⅱa	4	○	○	2	30		コース教員	卒業論文(専門演習)Ⅰbの単位を取得していること	
		卒業論文(専門演習)Ⅱb	4	○	○	2	30		コース教員	卒業論文(専門演習)Ⅱaの単位を取得していること	
		地域課題解決研究Ⅰa	3・4	○	○	2	30		本学教員		
		地域課題解決研究Ⅰb	3・4	○	○	2	30		本学教員	地域課題解決研究Ⅰaの単位を取得していること	
地域課題解決研究Ⅱa		4	○	○	2	30	本学教員		地域課題解決研究Ⅰbの単位を取得していること		
地域課題解決研究Ⅱb		4	○	○	2	30	本学教員		地域課題解決研究Ⅱaの単位を取得していること		
合計						94単位以上					
卒業要件総合計						124単位以上					

科目区分 コア・ユニット	科目名	配当年次	開講期		単位数			授業 時間数	卒業要件	担当教員 (非常勤) ☆マークは代表教員	備考
			前期	後期	必修	選択	要件外				
その他科目 (卒業要件外)	教職関連科目	教育学概論	1		○			2	30	藤井宣	
		教職入門	1		○			2	30	(中村)	
		教育社会学	2	○				2	30	藤井宣	
		教育心理学	2	○				2	30	向居	
		特別支援教育	3	○				1	15	(平田)	
		教育課程論	2	○				2	30	(今井)	
		道徳教育論	3	○				2	30	(宮里)	集中講義
		総合的な学習の時間の指導法	3	○				2	30	(尾川)	
		特別活動論	3	○				2	30	(山田浩)	
		教育方法学	3		○			2	30	(深澤)	
		情報通信技術の活用	3		○			1	15	(松田)	集中講義
		生徒・進路指導論	2		○			2	30	坪田、(児玉)	
		教育相談	3	○				2	30	(森田)	集中講義
		教育実習指導	4	○				1	15	向居	
		教育実習Ⅰ	4	○				2	60	向居	集中講義
		教育実習Ⅱ	4	○				2	60	向居	集中講義
		教職実践演習(中・高)	4		○			2	30	向居、(内田)	
		介護等体験	3		○			2	50	向居	
		国語科教育法Ⅰ	2		○			2	30	(谷口)	
		国語科教育法Ⅱ	3	○				2	30	(谷口)	
		国語科教育法Ⅲ	3	○				2	30	(出雲)	
		国語科教育法Ⅳ	3		○			2	30	(出雲)	
		英語科教育法Ⅰ	2		○			2	30	馬本	
		英語科教育法Ⅱ	3	○				2	30	馬本	
		英語科教育法Ⅲ	3	○				2	30	(山岡)	
		英語科教育法Ⅳ	3		○			2	30	(山岡)	

配当年次:学生に履修を推奨する年次(履修可能な年次ではない)。

各年次に配当する場合は例えば「1・2・3・4」のように記載している。⇒ 配当された年次のいずれかで履修すれば良い。

年次をまたがって配当する場合は例えば「3~4」のように記載している。⇒ 配当された年次全てで履修しなければならない。

開講期:○印が複数期に付されている場合は、いずれか可能な時期に履修すれば良い。ただし、クラス分けなどにより履修する時期が指定される場合がある。

単位数

必修:当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目

選択:学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目(選択必修科目を含む)

要件外:単位認定できるが卒業要件に算入しない科目